

科目名 放射線計測学演習

1 単位 30 時間 昼間部 3 年 前期 担当講師 井上 一雅

教育目標

放射線計測学に関する過去国家試験問題や実力試験問題等の演習解説を行うことによって、診療放射線技師国家試験に対応できるようにする。答え合わせに重点をおくのではなく、過去の国家試験問題等を利用して幅広い計測学の範囲を網羅する。

使用教材 改訂 放射線基礎計測学 三枝 健二 ほか 医療科学社

出欠確認方法 点呼 試験 有 評価方法 試験および出欠

授業概要（前期）

- 1 回 物質の相互作用（演習と解説）
- 2 回 単位（演習と解説）
- 3 回 電離箱線量計（演習と解説）
- 4 回 比例計数管（演習と解説）
- 5 回 GM計数管（演習と解説）
- 6 回 シンチレーション検出器（演習と解説）
- 7 回 半導体検出器（演習と解説）
- 8 回 化学線量計、光刺激ルミネッセンス線量計（演習と解説）
- 9 回 熱ルミネッセンス線量計、ガラス線量計（演習と解説）
- 10 回 その他の検出器（演習と解説）
- 11 回 放射線、放射能の測定（演習と解説）
- 12 回 吸収線量の測定（演習と解説）
- 13 回 照射線量の測定（演習と解説）
- 14 回 計算問題（演習と解説）
- 15 回 測定誤差、標準偏差（演習と解説）

【実務経験】

診療放射線技師として非密封放射性同位元素を用いた検査および放射線管理業務を 5 年間担当。また、研究機関において第一種放射線取扱主任者として監督および指導を 8 年間担当。医療機関および研究機関での実務経験をもとに放射線計測について話をします。